

# ある里親家庭におじゃましました！ -Y夫婦とUくん-

☺ 養育家庭支援センターきらきら ☺ Y夫婦

☺ 里親になろうと思ったきっかけは？

☺ 子どもが欲しいという思いがあったのですが、病院へ行った時に病気が見つかり、子どもを諦めないといけなくなりました。その時に里親制度を知ったことがきっかけです。

☺ 子どもに会うまでの気持ちと、慣らし中の気持ちの変化はどうでしたか？

☺ 最初は、不安の方が大きかったです。でも、子どもの顔を見た瞬間に、この子と一生を共にしたいと思いました。慣らしの最初の時は、お風呂の入れ方やミルクのあげ方、そしておむつ交換のやり方もわかりませんでした。だんだん慣れて、何をすればいいか少しずつ分かかっていきました。

【きらきらコメント】里母さんには最初から心地よく抱っこされていたUくんでしたが、里父さんに抱っこされると泣いてしまいます。スヤスヤ眠っている時でも、里父さんに

抱っこされるとスイッチが入ってしまって…。

しかし、それでも里父さんは汗をかきながら、ニコニコと笑顔を忘れず頑張っていたのが、とても印象的でした。



☺ 子どもに出会ってから家族になるまでの思いや、夫婦の中で変わったことはありますか？

☺ 子どものおかげで、夫婦の会話が増えました。とにかく子どもの力は、大人にとってものすごく不思議です。最初の頃は、育児のことでよくケンカをしました。でも、お互いが自分の心の声を思い切って出したことで解決しました。

☺ 皆さんへのメッセージをお願いします！

☺ 里親は、決して大変なことではありません。ただ、最初の一步です。少しでも関心があれば、フォスティング機関に話を聞きに行ってください。養育することに対して、いろいろな人のサポートが充実しているから安心です。世の中には、まだまだ助けを必要としている子どもが大勢います。多くの子どもが、家庭の温かさを得られるのを待っています。そして、大人たちも、その子どもによって助けられています。子どもも大人も両方が幸せになれるのが里親制度だと、自分が経験して感じました。

【きらきらコメント】Y夫婦とUくんの初対面は、不思議なくらい自然でした。それでもY里親宅に行くまで、外出、外泊などを含め3カ月ほどの期間を要しました。その間に、Y里親は少しお疲れモードになったことも…。Y里親さんに限らず、里親さんは一度は心身ともに疲弊し、涙されるものです。そんな時は、施設の職員、フォスティング機関がしっかりサポートします！

資料提供：養育家庭支援センターきらきら

## 「里親おはなし会」開催

里親制度をもっと知ってもらうため、現在活躍している里親を招き、「話を聞く・話をする」会を開催！ かしこまった会ではなく、和気あいあいとした会なので、気軽にご参加ください。参加者へのプレゼントもあります。

日時 11月12日(金) 午後6時～7時半

場所 町総合体育館 会議室

費用 無料 ※事前申し込み制

申し込み

(福)慈愛園 養育家庭支援センター  
きらきら ☎03833-8100

※新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催となる場合があります。

## 最後に

現在、さまざまな家族の形があり、里親家庭もその中の一つです。特別なことではなく、そこで暮らしている子どもも特別な子どもではありません。

子どもにとって、実の親と暮らせない寂しさはあると思いますが、里親の温かな愛情により、血のつながり以上の強い絆を作ることができると思います。この絆こそが、その子にとって今後の人生の土台となり、里親にとっても、その後の人生を彩り豊かにするものと思っています。

里親特集に関する問い合わせ

こども未来課 ☎286-3117